

岡山市区づくり推進事業報告書  
(地域活動部門)

令和 2年 3 月 16 日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ だいにふじたがっくだいきほさいがいさいくいんかい  
団体名 第二藤田学区大規模災害対策委員会

所在地

連絡先

フリガナ いんちよう えんどう たろう  
代表者役職・氏名 委員長 遠藤 太郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください)  <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決  <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し  <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり  <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり  <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>大規模災害に備える安全安心な二藤作り</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>第二藤田学区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。          ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>昨年はDIGをおこなったが、今年度は小学校体育館においてHUG(避難所運営ゲーム)をおこない、災害時に備えることを学んだ。          そして9月には、平島水害時の避難所となった御休小学校の見学、三徳園研修センターにおいて当時の平島学区連合町内会長と御休学区連合町内会長から当時の状況と教訓、今後検討すべき事などをお話ししていただいた。そして二藤のハザードマップなどを使って災害時のどの様に備えるかの話も行い意見交換をおこなった。          第3学区にも一緒に取り組んでいただくよう連絡したが、参加を得られなかった。          その他どんぶらこまつりでも防災訓練を実施した。ウォーキングはコロナウイルスで中止。</p>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>自主防災会の結成が岡山市の制度変更に伴い昨年度に比べ数町内会で自主防災会の結成を見ることができたが、まだ全町内会に広げることにはなっていない。行政の具体的援助・指導をいただきたい。</p> <p>第一次避難場所の拡大と防災用品の備蓄といった課題の解決をおこなうことが求められるが、学区だけの取り組みでは困難である。区へも要望しているが、早期に避難場所の設置を拡大するよう協力願いたい。</p>

③ 目的・目標の達成状況

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況  
イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等  
ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等  
エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況  
オ その他⇒定めた目標の達成状況  
など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

全町内会での自主防災会結成という課題から見れば、まだ大きく立ち後れている。制度変更に伴い、新たに 町内で結成された。このことを通じて他の町内での結成の促進を図る。

避難所運営ゲームをおこなったことで、町内会や班での訓練の必要性を強く認識する感想も出され、地域の安全に対する意識の向上に役立った。

平島での研修では、現地の町内会の取り組みや課題、避難者を受け入れた町内会の生の声を聞くことが出来、藤田での取り組みの重要性と課題が一定鮮明になってきた。

④ 企画等の工夫と情報公開

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

昨年度は図上訓練をおこなったが、今年度は避難所開設に伴う図上訓練をおこない、一定の理解を生んだ。

その上で、平島水害での現地の取り組みを学ぶことで、他学区からの避難者の受け入れも含めて取り組みの困難さと課題を鮮明にすることが出来た。

また、各行事に際しては実行委員会を開催し、学区内の各種団体の方に参加していただき、保育園の保護者会や子ども会、PTAの役員など若い方々の参加をすすめるために呼びかけを強めた。しかしまだ参加は不十分である。

二藤どんぶらこまつりなど多くの方が参加する取り組みにも防災コーナーを設置。藤田地域のハザードマップの展示や171災害用伝言ダイヤルのコーナーも設けるなど新しい取り組みもおこなった。

消防の協力を得ることだけでなく協立病院など医療機関との連携も図った。

<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>次年度は、学区全体の取り組みとして避難所開設訓練を実施し、災害時の対応を訓練する。</p> <p>来年度は真備町の水害についても学び、児島湖や笹ヶ瀬川の氾濫についての検討もおこなっていききたい。</p> <p>町内会単位での防災教室の実施も行い、自主防災会結成の気運をさらに高めるよう努める。</p>		
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <p>町内会長の多くが1年で交代するという現状の中で、二藤全体での取り組みを継続するには多くの努力が求められる。その為に、災害対策委員会のメンバーは町内会長のとらわれず、地域で継続して取り組むことが出来るようメンバーの構成を進めている。</p> <p>メンバーの中で特に留意していることは、若い方の参加である。二藤のまつりや各種行事などを通じてこうした若い方々の力を発揮してもらおうことである。</p> <p>平島や真備町などの現場での取り組みを直接伺うなどの取り組みを通じて一層地域の防災に対する意識向上をはかることが求められる。</p> <p>また、こうした話を聞くだけでなく、避難所が開設されたときに何は必要で、何が問題かなど避難所開設訓練で鮮明にしていききたい。</p> <p>他学区との交流もすすめていききたいと思っているが、思うように進んでいないのが現状である。</p> <table border="1" data-bbox="236 1355 1433 2063"> <tr> <td data-bbox="236 1355 965 2063"> <p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 若い方も参加されるよう広報をされればよりよい事業になるのではないのでしょうか</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>若い方々が参加出来るよう子ども会、小学校、保育園、体協などに独自にチラシを下ろすなど取り組んできた。学区の祭りでは中学生ボランチグループ「藤田を楽しくしたい」のみなさんの協力もいただき輪を広げるよう取り組んだ。</p> <p>来年度の、避難所開設訓練では小・中学校、保育園も含めた実行委員会をつくり一生若い方々の参加を広げていきたい。</p> <p>(理由： )</p> </td> <td data-bbox="965 1355 1433 2063"> <p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた  <input checked="" type="radio"/>Ⅱ おおむねできた  Ⅲ 一部できなかった  Ⅳ まったくできなかった  Ⅴ 改善意見がなかった</p> </td> </tr> </table>	<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 若い方も参加されるよう広報をされればよりよい事業になるのではないのでしょうか</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>若い方々が参加出来るよう子ども会、小学校、保育園、体協などに独自にチラシを下ろすなど取り組んできた。学区の祭りでは中学生ボランチグループ「藤田を楽しくしたい」のみなさんの協力もいただき輪を広げるよう取り組んだ。</p> <p>来年度の、避難所開設訓練では小・中学校、保育園も含めた実行委員会をつくり一生若い方々の参加を広げていきたい。</p> <p>(理由： )</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた  <input checked="" type="radio"/>Ⅱ おおむねできた  Ⅲ 一部できなかった  Ⅳ まったくできなかった  Ⅴ 改善意見がなかった</p>
<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 若い方も参加されるよう広報をされればよりよい事業になるのではないのでしょうか</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>若い方々が参加出来るよう子ども会、小学校、保育園、体協などに独自にチラシを下ろすなど取り組んできた。学区の祭りでは中学生ボランチグループ「藤田を楽しくしたい」のみなさんの協力もいただき輪を広げるよう取り組んだ。</p> <p>来年度の、避難所開設訓練では小・中学校、保育園も含めた実行委員会をつくり一生若い方々の参加を広げていきたい。</p> <p>(理由： )</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた  <input checked="" type="radio"/>Ⅱ おおむねできた  Ⅲ 一部できなかった  Ⅳ まったくできなかった  Ⅴ 改善意見がなかった</p>		

## ⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和元年	
6月5日	第二藤田学区大規模災害対策委員会総会。 町内会長会議にて対策委員を含めて岡山市危機管理室の担当者を招いて避難所運営ゲームの練習をおこなう。
6月15日	役員会にて避難所運営ゲームと、どんぶらこまつりの検討。
6月30日	小学校体育館にて避難所運営ゲームを73名の参加で実施。
7月15日	連町役員会で避難所運営ゲームについて総括と研修について検討する。
9月15日	どんぶらこまつりへの災害対策のテントの中身の打ち合わせと研修の検討。
9月23日	三徳園研修交流館にて前平島学区連合町内会長と御休学区連合町内会長から平島災害について学び藤田の防災について検討する。
10月6日	どんぶらこまつりへの展示と実演。
10月15日	どんぶらこまつりと研修の総括をおこなう。
11月15日	令和2年度の計画について意見を出し合う。
12月15日	令和2年度の申請について検討。
令和2年	
1月15日	ウォーキングの検討と災害対策の申請内容を最終確認。
2月26日	ウォーキングと炊き出し訓練実行委員会 開催の中止を決定
3月22日	ウォーキングと炊き出し訓練は中止。

## ⑩ 収 支 決 算 書

### ◆ 収 入

(単位:円)

費 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	210,000	99,500	
協賛金	0	0	
負担金	45,000	20,000	平島防災研修参加費
広告料	50,000	0	
寄付、他収入	152,475	79,684	連合町内会他
計	457,475	199,184	

### ◆ 支 出

(単位:円)

費 目	予 算 額	決 算 額		内 容 <small>(必ず記載してください)</small>
		総事業費額	補助対象額	
消耗品費	85,275	43,223	43,223	事務用品代
食糧費	45,000	22,500	22,500	研修時昼食代¥500×45人
印刷製本費	15,000	3,345	3,345	会議資料・案内印刷他
燃料費	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	
通信運搬費	12,000	2,666	2,666	会議案内葉書
広告料	0	0	0	
手数料	0	0	0	
使用料・賃借料	35,000	7,450	7,450	研修施設利用料
原材料費	5,000	0	0	
委託料	0	0	0	
工事請負費	0	0	0	
報償費	15,200	0	0	
保険料	15,000	0	0	ウォーキングと炊き出し・防災訓練中止のため支出無し
旅費	230,000	120,000	120,000	研修バス代
計	457,475	199,184	199,184	

# 令和元年度 訓練および研修等の状況



避難所運営ゲーム(HUG)の様子



平島研修(左は避難所となった御休小学校体育館・右は平島前町内会長の講演)



どんぶらこまつりでの災害対策テントと体育館への展示



ウォーキングと防災訓練 元年3月(今年度はコロナウイルスで中止)